

# 一般廃棄物処理施設の強靱化により、災害時の環境衛生を確保する（静岡県伊豆市）

伊豆市伊豆の国市廃棄物  
事業者：処理施設組合



狩野川洪水浸水想定に対応した敷地地盤の嵩上げ状況



土石流対策擁壁 L = 104m

## 対策名：76 一般廃棄物処理施設に関する対策

主たる施策グループ：6-3) 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態



## 事業名：一般廃棄物処理施設の施設整備事業

- ポイント**
- 廃棄物処理施設の敷地嵩上げ、擁壁整備等により、耐災害性を強化
  - 災害時のごみ処理能力低下のリスクを低減
  - 災害廃棄物等の継続的処理により、生活圏の環境衛生を確保

### 地域の概要・課題

事業実施箇所は、静岡県を流れる一級河川狩野川の浸水想定区域に該当し、また、土砂災害特別警戒区域に指定されています。

昭和33年の狩野川台風では、事業実施箇所の山側が崩壊し、大規模な土砂災害が発生しており、災害時の被害防止のため、施設の耐災害性強化が必要でした。

### 事業の概要

浸水想定区域及び土砂災害特別警戒区域であっても、大規模災害発生後にも継続して稼働できるよう、下記の施設整備を実施しました。

- ・敷地地盤高を2m嵩上げし、想定最大水位に対応
- ・土石流対策擁壁を設ける
- ・炉室エリアの機械基礎を0.2~0.3m立ち上げ

### 見込まれる効果

狩野川台風と同規模の災害が発生した場合でも、施設被害を防止し、平時と同様の施設稼働を行うことで、一般廃棄物を適正に処理し生活圏の環境衛生を確保することが見込まれます。



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
(1) 人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 伝達の高精度化  
災害関連情報の予測、収集・集積